

令和7年度 児童発達・放課後デイ 集団療育

療育時間	14:55~16:30(95分) 16:25~18:00(95分)		
支援の方針	類似した課題を持った小集団を構成し、個別課題では記憶・言語理解・注意・知覚・理論・判断などの認知機能強化を図る。また集団でできるゲームなどを通して、コミュニケーション力や感情・言動のコントロールの獲得を目指す。「働くこと」を目指して、仕事の正確さ・丁寧さ、仕事に向かう姿勢や態度に課題を設定し、報酬を励みに取り組んでもらう。		
プログラム	具体的な内容	支援内容（5領域）	
はじまりの会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書返却・挨拶 ・ 心身の状態確認 ・ 日誌配布 (活動予定・目標の確認) ・ ウォーミングアップ (旗揚げ・ジェスチャー当て・動物クイズ・瞑想・実験など) 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 保有する感覚の総合的な活用 ・ 対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得 ・ コミュニケーションの基礎的能力の向上 ・ 自己の理解と行動の調整
個別課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ アセスメントや検査結果に基づいた認知課題や手先の操作課題 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 姿勢と運動・動作の向上 ・ 姿勢と運動・動作の補助的手段の活用 ・ 認知の発達と行動の習得 ・ 空間・時間・数等の概念形成の習得 ・ 自己の理解と行動の調整
休み時間	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書室や自席で休憩 ・ 廊下で卓球やホッケー等 ・ トイレ ・ 水分補給 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 言語の受容及び表出 ・ コミュニケーションの基礎的能力の向上 ・ 他者との関わり（人間関係）の形成 ・ 仲間づくりと集団への参加
集団活動 ボードゲーム	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々なボードゲーム (UNO・坊主めくり・すごろく・黒ひげ危機一髪など) ・ 集団活動 (ゴムとび・) 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 保有する感覚の総合的な活用 ・ 対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得 ・ 言語の受容及び表出 ・ コミュニケーションの基礎的能力の向上 ・ 他者との関わり形成 ・ 自己の理解と行動の調整
仕事	<ul style="list-style-type: none"> ・ 軽作業 ・ 事務作業 ・ パソコン作業 ・ チームで協力作業 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 姿勢と運動・動作の補助的手段の活用 ・ 対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得 ・ コミュニケーションの基礎的能力の向上 ・ 自己の理解と行動の調整
おわりの会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日誌の記入 (自己評価) ・ カレンダー確認 (次回、利用日の確認) ・ スコーレコイン配布 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活リズムや生活習慣の形成 ・ 対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得 ・ 言語の形成と活用 ・ 言語の受容及び表出 ・ 自己の理解と行動の調整
帰宅準備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 買い物・貯金 ・ フィードバック ・ 図書貸出 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得 ・ 自己の理解と行動の調整 ・ 仲間づくりと集団への参加
STEM教育 ※毎週月曜日のみ 開所	<p>ブロックやタブレットで、自分で1つの作品を完成させることを通して、集中力を高めたり、子どもたちの認知機能を高めたりする。手を動かし体験しながら学ぶという新たな切り口。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 保有する感覚の総合的な活用 ・ 空間・時間・数等の概念形成の習得 ・ コミュニケーション手段の選択と活用

家族支援

障がい特性に配慮し、安心して成長を見守れる日々が送れるよう、ご家族の思いに寄り添います。ご家族の障がい受容のペースに合わせて、十分な配慮を行い、発達上の課題について気づきを促し、支援計画を提案します。

移行支援

子どもの発達状況や家族の意向をアセスメントし、地域の同年代の子どもたちとの仲間作りを目指します。可能な限り、地域の保育、教育等の支援を受けられるように、支援内容等の共有や支援方法の伝達などを行い、支援体制の構築を行っていきます。療育卒業後の交流の場として、地域の民家をお借りして、家庭学習のお手伝いをしております。（ノンフレ）

地域支援・地域連携

地域社会への参加・インクルージョンを推進するため、保育所等の子育て支援機関等の関係機関との連携を進め、地域全体の子育て支援力を高めるネットワークの構築に努めます。また地域の医療機関・子育て支援センターなどの情報提供を行っていきます。地域の園や学校の先生、事業所の支援者、ご家族の為に研修会を企画・実施しております。

職員の質の向上

事業所の提供する支援の質を確保するため、ABC行動分析を用いて、支援場面の振り返りをするなど事業所内研修を実施したり、外部研修への派遣、個々の支援スキルアップに関連した資格取得など、職員の質の向上に努めます。

主な行事

学期末(7月・12月・3月)のお楽しみ会

保護者の茶話会(6月)

てとてと「親と支援者の研修会」(7月・3月)

